

令和6年度 入学式から

4月9日（火）、晴れ渡る青空のもと、「令和6年度 入学式」が挙行されました。緊張した中にも新入生の笑顔があり、「宮中で頑張りたい」という思いが紹介の返事にも表れていました。

【校長式辞】



- 『心がけてほしい』『心に留めてほしいこと』こと
- ・『高い志をもつ』ということ。
 - ・『共に前へ』、昨日までの自分、自分達を超えてほしい。
 - ・『考動』、これまでの経験（失敗を含めた経験）や自分が気づいたこと・感じたことをもとに、「必要なことは何か」「何をすればいいのか」を考えることであり、「考えた」だけに終わらず、目標の達成に向けて、自ら主体的・積極的に実践していくこと。

【来賓祝辞（PTA 会長）】



『言葉の持つ力』

・チームとして、クラスとして人と接していく上では、言葉の使い方はすごく大事になってきます。君たちが発する言葉の一つひとつが、君たちのクラスメイトであったり、チームメイトに影響を及ぼしていきます。自分が発する言葉が、聞いた人、言われた人にどう影響を及ぼすのかを発言するときに考えながら、言っていく。それが中学校生活をしていく上でのステップとなる。前向きな言葉を投げかけられるような生徒になってほしい。

【歓迎の言葉】



中学校生活は3年間しかありません。宮中学校では「自ら学び 互いに磨こう」という校訓を掲げています。多くのことを学び、ひとつひとつのことを大切に、過ごしてください。私たちと一緒に充実した中学校生活を送っていきましょう。これからもよろしくお願いします。

【決意の言葉（新入生代表）】



初めてすることも増えて不安もありますが、小学校で学んだことを生かしながら、学校行事などを一生懸命に取り組み、悔いのない中学校生活を送りたいです。これから私たちは、先生方、先輩方から多くのことを学び、たくさんの思い出を作っていくことになります。その一瞬一瞬を、私たちを支えてくれる方々の存在を忘れずに、感謝の気持ちを持って過ごしていきます。先生方、先輩方、これからどうぞよろしくお願いいたします。



学級では、担任より「笑顔があふれる学級にしたい」との願いが語られました。そのためにも、互いに認め合い・支え合っていくことが大切です。
明日からの中学校生活の中で、新たな絆づくりを育んでいきましょう！！